



しいの木を中心にした広場



防火設備の基地としての役割も



地域のイベントや行事の会場にも活用される



DATA・BOARD 15

- ①東京都足立区関原1丁目21
- ②面積：約4,600㎡
- ③愛恵まちづくり記念館、まちづく工房館、広場、消防設備
- ④植栽ほか
- ⑤祭り、まちづくりフォーラム、工作教室など



足立区の関原地区は、住・工・商が共存する木造家屋の密集地区で、防災上多くの問題を抱えた地域であった。このため、区と地域住民が一体となり、住環境整備を中心に災害に強いまちづくりを進めてきた。

「関原の森」は愛恵学園の跡地に、こうしたまちづくり活動の拠点として整備されたもので、敷地内に愛恵まちづくり記念館とまちづくり工房館の複合施設、しいの木を中心とした広場などが設けられている。広場には、消火栓、防火用水などの消防設備が設置されており、災害時に対応できる機能も兼ね備えている。

整備後は、子供からお年寄りまで幅広い世代のふれあいの場になっており、まちづくり団体や町内会などのコミュニティ活動の場としても活用され、地域にさまざまな活動の場創造する施設に発展し、まちづくりの情報発信基地となっている。